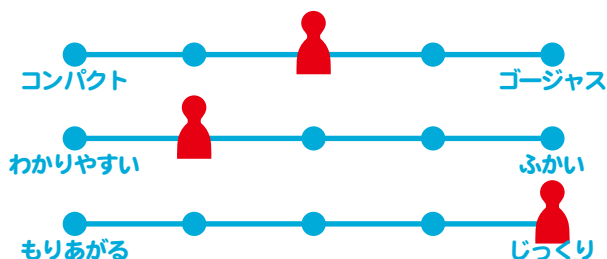


バントゥ

- 原題：BANTU
- 作者：不詳
- アートワーク：ニューゲームズオーダー



BOX size L



←307mm→



遠く 1955 年に出版されたレースゲームです。しかしながら内容には古臭い所は何らなく、洗練されたルールがの上なくかみ合った、悩ましい作品です。

プレイヤーは自分の駒3つ全てを、いち早くゴールに到着させることを目指します。自分の手番では、手持ちの駒のうち（移動可能な）1つを選んで動かします。自分の駒にはそれぞれ「1」「2」「3」の数値が振られています。「1」の駒は1回の移動で1歩、「2」は2歩、「3」は3歩動きます。ただし、大きい数字の駒ほど、ゴールから遠くにスタート地点が置かれています。

自分の番には手持ちの駒の内一つを、定められた歩数分前進させます。駒が動くトラックは枝分かれしており、経路を選ぶことができます。他の駒があるマスは通過できないため、上手く経路を選ばねばなりません。また、自分の歩数でちょうど他のプレイヤーの駒のマスに入れる場合はヒットとなり、踏まれた駒はその駒のスタート地点に戻されてしまいます。

複数のマスが横繋がりになっている場所は、複数の駒がそこにある限りは「安全地帯」として機能し、ヒットを受けなくなります。加えて、ここから駒を移動させる場合は、「その場所にある駒の数値の合計分」一気に駒を前進させることができるのです。

「全ての駒をゴールに入れる」「ヒットによりスタートに戻される」というルールは、2人用の伝統的なボードゲーム「バックギャモン」に共通するルールですが、このゲームは3~4人でのプレイも想定しており、加えてバックギャモンと違ってサイコロを使いません。駒の数値により展開の予測を立てられる一方、多くのプレイヤーの思惑の絡みが展開のアヤを生み出し、濃密な駆け引きが生じます。シンプルなルールで味わい深いゲームを実現した、驚異的な一作です。

1955年の驚異 BANTU



詳しいルールはこちらから

<http://www.newgamesorder.jp/games/bantu>